

林野・枯草火災に注意

【林野火災の予防】

林野火災の出火原因の多くは人的要因であることから、大部分は皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。

降水量が少なく、空気が乾燥し、強風が吹く例年、特に3月から5月頃に多くなる林野火災は、この時期に火入れが行われることや、山菜採りやハイキング等で入山者が増加することによる火の不始末等も一因として考えられます。また、草や枝などの焼却が火災の原因となることもあります。

【林野火災防止のための注意点】

- 1 乾燥・強風の日は火を使わない
- 2 火から目を離さない
- 3 消火用の水を準備する
- 4 使用後は完全に消火する
- 5 たばこの投げ捨て、火遊びは絶対にしない



【林野火災の特徴】

林野火災は、ひとたび発生すると早期に延焼拡大することがあります。また、消火のための消防隊の立入りが困難であることや消火用水の確保が難しいこと、広範囲の消火が必要なこともあり、他の火災に比べて鎮火までに時間がかかり、多くの人員を消火活動に必要とする場合があります。

このほか、人命・家屋等への危険が生じることや、貴重な森林資源の焼失とそれによる土砂流出等の二次災害の危険性が高まること、自然の回復には長い年月と多くの労力を要することがあります。



問合せ先

新発田地域広域消防本部 予防課

0254-22-8096